

シラバス

年度： 2023

Page. 1

教育課程	食物栄養学科		
授業科目名	卒業研究		
英語科目名	Studies of Food and Nutrition		
科目ナンバリングコード	47B03E		
学年	2年	開講学期	通期
授業方法	演習	遠隔授業	
単位数	2	曜日/時限	前-水-5、後-水-5
担当教員	栗原 和也		
実務家教員			
アクティブラーニング型科目			
「ディスカッション・ディベート」「グループワーク」			
ディプロマポリシーにかかわる項目			
<p><食物栄養></p> <p>2. 幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、人々の健康を支援できる。</p> <p>5. 生命や健康に関する社会問題に関心を持ち、病院、福祉施設、学校、事業所、行政などにおける栄養士の仕事を理解できる。</p>			
授業の到達目標			
<p>2-③チーム・組織・社会の一員として効果的に参加・支援することができる。</p> <p>5-①社会問題として捉えた生命や健康に関する課題について、食物や栄養の立場から考えたことを実践的方向へつなげることができる。</p>			
授業の概要			
卒業研究は、各教員独自の研究テーマを学生が自由に選択し、その選択したテーマについて、担当教員の指導を受けながら、少人数のグループで研究を進めていくものです。講義や実験などで学ぶ一般的知識ばかりでなく、より専門的な知識、より新しい知識を得るよい機会となります。			
授業計画			
実施回	授業内容		
第1回	キャリアサポート① (0Gガイダンス)		
第2回	DP到達度評価シート入力①およびキャリアポートフォリオの入力①(1年次後学期分の振り返り) ゼミ運営に関する説明①、キャリアサポート② (現状確認 (個別面談))		
第3回	キャリアポートフォリオの入力①およびキャリアポートフォリオの入力①(1年次後学期分の振り返り) ゼミ運営に関する説明①、キャリアサポート② (現状確認 (個別面談))		
第4回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第5回	通常の卒業研究活動(各グループ毎に調査、実習・実験)		
第6回	通常の卒業研究活動(各グループ毎に調査、実習・実験)		
第7回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第8回	栄養士養成特別講演会①		
第9回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第10回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第11回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第12回	栄養士養成特別講演会②		
第13回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第14回	各グループ毎に調査、実習・実験		
第15回	中間のまとめ		
第16回	DP到達度評価シート入力②およびキャリアポートフォリオの入力②(2年次前学期分の振り返り) ゼミ運営に関する説明②		
第17回	DP到達度評価シートの入力②およびキャリアポートフォリオの入力②(2年次前学期分の振り返り) ゼミ運営に関する説明②		
第18回	グループ毎に調査、実習・実験		
第19回	グループ毎に調査、実習・実験		
第20回	グループ毎に調査、実習・実験		
第21回	グループ毎に調査、実習・実験		

シラバス

年度： 2023

Page. 2

第22回	グループ毎に調査、実習・実験
第23回	グループ毎に調査、実習・実験
第24回	栄養士免許申請ガイダンス
第25回	グループ毎に調査、実習・実験
第26回	グループ毎に調査、実習・実験
第27回	グループ毎に調査、実習・実験
第28回	グループ毎に調査、実習・実験
第29回	結果のまとめ
第30回	総評
補足	第2回および第3回のキャリアサポートについては、3～4ゼミごとの交代で実施します。栄養士養成特別講演会は講師都合により日程変更の可能性があります。

テキスト

資料配布	あり
補足情報	学生のテーマに合わせて、適宜、助言する。

参考書（購入する必要はないが推奨する図書）

補足情報	学生のテーマに合わせて、適宜、助言する。
------	----------------------

履修条件・受講上の注意事項

日程調整の上、一部、授業時間外での打合せ等が生じる。

試験や課題等に対するフィードバック

その都度、課題や発表等へフィードバックする。それぞれの研究活動内容は要旨としてまとめ、全員分を冊子にまとめて卒業時に全員に配布する。

成績評価方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
研究テーマに対する取り組み状況	30	総合的に評価する。
発表資料・レポート	70	総合的に評価する。

授業時間外学修に関わる情報（事前・事後学修）

各自で選択した研究内容に沿って研究を行い、次回の授業においてデータ整理が出来るよう結果をまとめておく。結果をエクセル等でまとめて表やグラフにまとめる。結果に基づいて同じ研究内容の学生や担当教員とディスカッションを行い、レポートにまとめる。研究に関する事前調査、結果や質疑応答できる資料のまとめおよびレポート作成等を含めた事前事後学習は、通年で概ね22.5時間行う。

その他

新型コロナウイルス感染拡大状況により、シラバス内容に変更が生じることがあります。変更については、その都度、状況を判断して連絡します。成績評価の方法としての試験は行わないため、本科目の再試験（2年次）は実施しないので注意すること。